



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,621	△6.3	777	49.5	952	44.9	721	65.7
2020年3月期第3四半期	19,880	△0.3	520	45.2	657	34.5	435	48.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,012百万円 (17.1%) 2020年3月期第3四半期 864百万円 (94.5.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	58.78	—
2020年3月期第3四半期	35.50	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,781	17,885	69.4
2020年3月期	24,364	17,118	70.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,884百万円 2020年3月期 17,118百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△8.6	800	△16.3	1,030	△11.0	680	△11.0	55.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社えのきボーヤ 除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	12,300,000株	2020年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	19,590株	2020年3月期	19,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	12,280,410株	2020年3月期3Q	12,270,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる感染者が秋以降再び大きく増加しており、持ち直しの動きが見られていた経済が再度落ち込む兆しがあることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連のエネルギー業界に関しましては、国際的な原油の需要減退により2020年4月に原油価格が異常な下落をしたものの、その後は比較的安定推移してまいりました。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染拡大の状況がLPガス、石油類の輸入価格、需要動向に大きく影響する要因となっており、足元では上昇傾向になるなど不安定な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、衛生管理等の感染予防対策を徹底し、エネルギー関連事業においては、ライフラインでありますLPガス、石油類、小売電気などのエネルギーの安定供給に努めてまいりました。

また、コロナ禍による経済活動自粛の中、これまで培ってきたお客様との交流を絶やすことのないように、新たな取組として「紙面展示会」やWeb上での「バーチャル展示会」など非接触型のお客様との接点強化策を実施し、お客様からの高評価をいただくとともにリフォーム事業や住宅関連設備機器の販売において成果を上げることができました。

さらに、青果事業においてはコロナ禍における巣ごもり需要等により、その他事業においても建設事業で大型案件が完工したことにより、それぞれ業績が伸長しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、特に業務用のLPガスやガソリン等の販売数量が減少したことに加え、燃料類の販売価格が低水準で推移したこともあり、売上高は18,621百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

一方、利益面におきましては、2020年4月1日付で子会社化した株式会社えのきボーヤの業績が順調に推移したことや建設事業における大型案件の完工、またコロナ禍での経費削減等により、営業利益777百万円（前年同四半期比49.5%増）、経常利益952百万円（前年同四半期比44.9%増）となり、遊休土地の売却等により親会社株主に帰属する四半期純利益721百万円（前年同四半期比65.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (エネルギー関連事業)

コロナ禍の影響によるLPガス、石油類等の需要の減少に加え、仕入価格の下落に伴う販売価格の低下等により、売上高は15,632百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。セグメント利益は電力小売事業である「サンリンでんき」の顧客増加やコロナ禍に対応した経費の見直し等により531百万円（前年同四半期比43.1%増）となりました。

## (製氷事業)

新工場の稼働により生産能力が上がり売上が増加したことから、売上高は247百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。セグメント損失は減価償却費等の費用が増加したことから48百万円（前年同期は29百万円のセグメント利益）となりました。

## (青果事業)

子会社化した株式会社えのきボーヤの業績がコロナ禍における巣ごもり需要等により順調に推移したことから、売上高は1,856百万円（前年同四半期比71.2%増）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比483.5%増）となりました。

## (不動産事業)

前年同期並みの土地分譲等の販売件数を確保できたことから、売上高は268百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比26.6%増）となりました。

## (その他事業)

建設事業等のその他事業におきましては、建設事業の大型案件の完工等により、売上高は616百万円（前年同四半期比80.8%増）、セグメント利益は69百万円（前年同四半期は0百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,417百万円増加し、25,781百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加196百万円、受取手形及び売掛金の増加574百万円、投資有価証券の増加402百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比651百万円増加し、7,896百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加208百万円、長期借入金の増加527百万円等によるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加476百万円、その他有価証券評価差額金の増加263百万円等により前連結会計年度末比766百万円増加し、17,885百万円となりました。この結果、自己資本比率は69.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、取扱い商品の性質上季節的変動が大きなLPガス及び石油類等のエネルギー関連事業の第4四半期に占めるウェイトが高く、また、新型コロナウイルスの動向、為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では2020年11月5日発表時の業績予想の修正は行っていません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,129	6,325
受取手形及び売掛金	3,218	3,792
商品及び製品	1,113	1,172
仕掛品	73	108
原材料及び貯蔵品	381	329
その他	152	201
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,067	11,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,426	9,847
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,902	△7,169
建物及び構築物 (純額)	2,524	2,677
機械装置及び運搬具	4,884	5,614
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,959	△4,708
機械装置及び運搬具 (純額)	924	906
工具、器具及び備品	3,338	3,365
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,787	△2,857
工具、器具及び備品 (純額)	551	507
土地	4,512	4,470
建設仮勘定	21	32
有形固定資産合計	8,533	8,595
無形固定資産		
その他	108	275
無形固定資産合計	108	275
投資その他の資産		
投資有価証券	4,176	4,578
繰延税金資産	103	107
退職給付に係る資産	47	25
差入保証金	148	147
その他	209	153
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	4,654	4,982
固定資産合計	13,296	13,853
資産合計	24,364	25,781

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,911	2,120
短期借入金	2,814	2,765
1年内返済予定の長期借入金	20	88
未払法人税等	259	69
賞与引当金	233	62
その他	603	773
流動負債合計	5,842	5,878
固定負債		
長期借入金	63	590
繰延税金負債	69	212
役員退職慰労引当金	246	211
退職給付に係る負債	658	637
資産除去債務	158	158
その他	206	207
固定負債合計	1,403	2,018
負債合計	7,245	7,896
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	13,741	14,217
自己株式	△12	△12
株主資本合計	16,489	16,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	664	928
退職給付に係る調整累計額	△35	△8
その他の包括利益累計額合計	628	919
非支配株主持分	0	0
純資産合計	17,118	17,885
負債純資産合計	24,364	25,781

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	19,880	18,621
売上原価	14,890	13,298
売上総利益	4,989	5,323
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	2	0
給料及び手当	1,391	1,388
賞与引当金繰入額	46	51
退職給付費用	65	83
役員退職慰労引当金繰入額	23	26
その他の人件費	773	724
減価償却費	364	365
消耗品費	435	481
その他	1,367	1,423
販売費及び一般管理費合計	4,469	4,545
営業利益	520	777
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	63	57
受取賃貸料	26	28
その他	97	141
営業外収益合計	188	227
営業外費用		
支払利息	7	6
持分法による投資損失	25	28
その他	18	18
営業外費用合計	51	52
経常利益	657	952
特別利益		
固定資産売却益	—	72
特別利益合計	—	72
税金等調整前四半期純利益	657	1,025
法人税等	221	303
四半期純利益	435	721
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	435	721



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	435	721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	392	249
退職給付に係る調整額	7	26
持分法適用会社に対する持分相当額	28	14
その他の包括利益合計	428	290
四半期包括利益	864	1,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	864	1,012
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,950	235	1,084	269	19,539	341	19,880
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	146	—	—	0	146	783	929
計	18,096	235	1,084	269	19,685	1,124	20,809
セグメント利益	371	29	22	34	457	0	457

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	457
「その他」の区分の利益	0
セグメント間取引消去	62
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	520

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,632	247	1,856	268	18,005	616	18,621
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	158	0	79	3	241	701	942
計	15,791	247	1,935	271	18,246	1,318	19,564
セグメント利益又は 損失(△)	531	△48	132	43	659	69	729

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	659
「その他」の区分の利益	69
セグメント間取引消去	48
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	777

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

青果事業において、第1四半期連結会計期間より、株式会社えのきボーヤの株式100%を取得し、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの発生額は114百万円であります。